

# Vase to Pray Project webサイト 海外向け翻訳

Vase to Pray Project

## プロジェクト紹介

Vase to Pray Projectは、かつて長崎に投下された原爆について、ひとりでも多くの人に知ってもらおうと共に、世界の平和を祈るプロジェクトです。「祈りの花瓶」は長崎に落とされた原子爆弾の熱風によって変形した瓶の、3Dスキャンデータを元に、長崎の波佐見焼で精密に再現したものです。被爆体験を語り継いでいくための“アート”として。さらには、平和を祈る“花瓶”として、「祈りの花瓶」を通して、次の世代へ平和への大切さを継承していきます。



## 今回の取組みについて

活動を続けていく中で、日本だけでなく、海外の方々にも作品を通して平和の大切さを発信する必要性を強く感じていました。自由に海外へ行き来することが困難な状況なので、まずはプロジェクトのwebサイトを日英表記できるようにリニューアルしました。



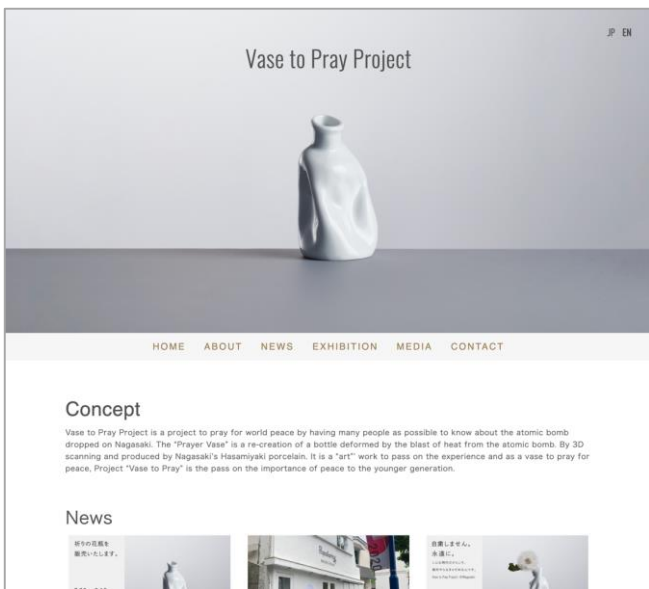
◀こちらからサイトをご覧ください

<https://vtp.jp/en/>

### この事業の新しさ！

被爆して変形したガラス瓶を3D技術を活用してアート作品にするという、今までになかった発想

## 今回の事業を通して



完成したwebサイト

プロジェクトに興味を持った、海外の方からSNSでメッセージをいただく機会が多くなりましたが、今までは英語で活動を紹介しているものが無く、説明の際に困っていました。

しかし、今回の事業を通して、日英表記のWebサイトが完成したので、今後はこのサイトから、海外の方々にも活動について詳しく知っていただきたいです。

## 今後の展望



2021年東京オリンピック会場近くのギャラリーで行った展示風景  
祈りの花瓶に来場者が花を生ける参加型の展示を行っています。

日本はもちろん、海外での展示を目標に活動をしています。2017年、東京で開催した展示には、海外からのバックパッカーが多く訪れ、とても熱心に作品を見てくださり、涙をながしたり、握手を求められたことが、今でも強く印象に残っています。その時に、いつか海外で展示を開催して、もっと多くの人たちに長崎の原爆について知る機会を作りたいと思いました。

アートと言う切り口で、見る人たちのハードルを下げ、もっと身近に、もっと自分ごと化してもらえたら、継承のきっかけになると信じています。



2017年に開催した展示に訪れた海外の方々

